

2026 年 10 月 19 日

ニプロ株式会社

コード番号:8086

摂南大学との共同開発 マンデル酸測定試薬「ニプロ」/ フェニルグリオキシル酸測定試薬「ニプロ」販売開始のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役 社長執行役員:山崎 剛司、以下「ニプロ」)は、学校法人 常翔学園 摂南大学(本部:大阪府寝屋川市、学長:久保 康之、共同開発者:西矢 芳昭 教授)と共同開発したマンデル酸測定試薬「ニプロ」およびフェニルグリオキシル酸測定試薬「ニプロ」(以下「本製品」)について、2026 年 10 月 19 日より販売を開始することを、お知らせいたします。本製品は、尿中の有機溶剤代謝物であるマンデル酸およびフェニルグリオキシル酸を汎用自動分析装置で測定するための研究用試薬です。

有機溶剤であるスチレンやエチルベンゼンは、プラスチック製品の製造、塗装、印刷など、様々な製造現場で広く使用されています。これらの物質は、体内に取り込むことで健康に影響を及ぼすおそれがあるため、これらを取り扱う一定の業務に従事する作業員には、労働安全衛生法に基づく特殊健康診断が義務付けられています。その検査項目には、体内に取り込まれたスチレンやエチルベンゼンの量を把握することを目的とした、尿中に排泄される代謝物であるマンデル酸やフェニルグリオキシル酸の測定が含まれます。従来、これらの測定には専門的な分析装置や検体の前処理が必要となる場合があり、多数の検体を効率的に測定することが課題となっていました。こうした課題に対応するため、ニプロは摂南大学と共同で汎用自動分析装置を用いた尿中代謝物測定を可能とする研究用の液状試薬を開発※しました。本製品は、用手による前処理が不要であり、汎用自動分析装置に対応しているため、短時間で多数の検体を同時測定することが可能です。これにより、検査工程の効率化や検査担当者の負担軽減に貢献することが期待されます。

今後とも、ニプロは大学や研究機関との連携を通じて新たな技術・製品の創出に取り組み、検査機関のニーズに応える製品の開発・提供を行ってまいります。

※本製品に用いられるマンデル酸およびフェニルグリオキシル酸の測定技術について、ニプロ株式会社と学校法人 常翔学園は共同での特許を出願中です。

マンデル酸測定試薬「ニプロ」/フェニルグリオキシル酸測定試薬「ニプロ」



商品名 : マンデル酸測定試薬「ニプロ」/
フェニルグリオキシル酸測定試薬「ニプロ」
製造販売 : ニプロ株式会社
測定原理 : 酵素法
分類 : 研究用試薬
販売開始日 : 2026 年 10 月 19 日
参考価格(税抜): 各 300,000 円

お問い合わせ先

報道機関の皆さま: コーポレートコミュニケーション部 PR 室 TEL 06-6310-6650

その他の皆さま : 医療機器情報室 TEL 0120-226-410

※受付時間 9 時～17 時 15 分(土・日・祝日・当社休業日を除く)

このニュースリリースは、報道関係者や株主・投資家等の皆さまを含む多くのステークホルダーに対し、当社の企業活動に関する情報やその取り組み概要について、公平かつ適切なタイミングで提供することを目的としています。

文中に含まれる当社取扱製品やサービスに関する情報は顧客誘引や医学的アドバイスを意図するものではありません。